

入試方法及び選抜区分の整理（案）

現行の大学入学選抜実施要項における入試方法の整理や表記では分りにくく、実態と合っていないとの指摘。高等学校・大学関係者等による検討がなされることを期待。（令和3年3月3日「大学入学選抜における多面的な評価の在り方に関する協力者会議」（審議のまとめ））
大学入学選抜における実質的な公平性の追求や多様性を生かすキャンパスの実現の観点から、特別選抜の取組の普及を図る。（令和3年7月「大学入試のあり方に関する検討会議」（提言））

現在の実施要項上の整理

1. 一般的な選抜（一般選抜）

調査書、学力検査、小論文、入学志願者本人の記載する資料等により、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する方法による。

2. 一般選抜以外の選抜（特別な選抜 = 入学定員の一部）

総合型選抜

詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせ、志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定する方法。

学校推薦型選抜

出身高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料とし、出願書類や面接、共通テスト等により大学教育を受けると必要知識・技能、思考力・判断力・表現力も適切に評価する方法。

専門学科・総合学科卒業生選抜

高等学校の専門教育を主とする学科又は総合学科卒業及び卒業見込み者を対象として、職業に関する教科・科目の学力検査の成績等により評価・判定する方法。

帰国生徒選抜・社会人選抜

帰国生徒（中国引揚者等生徒を含む。）又は社会人を対象として、一般の入学志願者と異なる方法により評価・判定する方法。

見直しのイメージ

1. 入試方法（総論）

調査書、学力検査、小論文、入学志願者本人の記載する資料等を、大学・学部等の目的、特色、専門分野等の特性、選抜区分の特色等に応じて組み合わせ、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する方法による。

2. 具体的な入試方法（各論）

入学定員の一部について総合型選抜及び学校推薦型選抜のような多様な入試方法を工夫することが望ましい。
一般選抜

学力検査、小論文等を主な資料（大学・学部等の目的等の特性によっては実技検査等を追加）とし、調査書、入学志願者本人の記載する資料等を組み合わせ、入学志願者の能力・意欲・適性等を評価・判定する方法。

総合型選抜

変更なし

学校推薦型選抜

変更なし

3. 選抜の工夫

上記2の入試方法において多様性確保の観点から、入学定員の一部について、以下のような入学者の選抜を工夫することが望ましい。

専門学科・総合学科卒業生

帰国生徒・社会人

その他多様な背景を持つ者

家庭環境、居住地域、国籍、性別、大学が判断した者（理系女子等）。この場合は入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視し、評価・判定。

大学入学者選抜実施要項における「学力検査」

大学入学者選抜の基本的事項を定める「大学入学者選抜実施要項」の「学力検査」とは、「各大学が実施する学力検査（＝「個別の学力検査」）及び大学が共同で実施する「大学入学共通テスト」のことをいう。

- 補足 1 実施要項第 6 の「学力検査等」は、**調査書に加え**、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定するための主な手段を列挙。
- 補足 2 「個別学力検査」と「大学入学共通テスト」だけが学力を評価する手段ではないことに留意が必要。

